

お金(貨幣)の話 ～お金の3つの機能について

平成 30 年 4 月作成



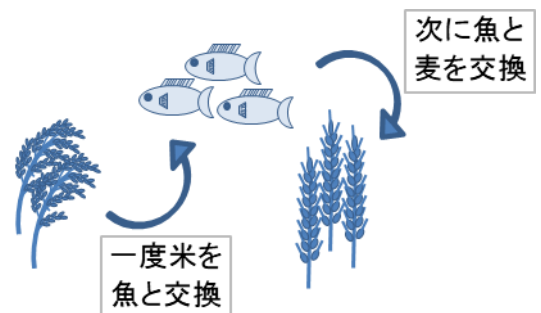
現代人が生活するうえで、欠かせないものの一つにお金(貨幣)があります。日常生活で特にお金を持つ役割について考えることはあまりないと思います。一体、お金が持つ機能とは何でしょうか。今回はお金の本質＝お金が持つ機能について考えてみたいと思います。

お金(貨幣)には一般的に次の3つの機能があると言われています。

- ① 交換機能
- ② 測定機能
- ③ 保存機能

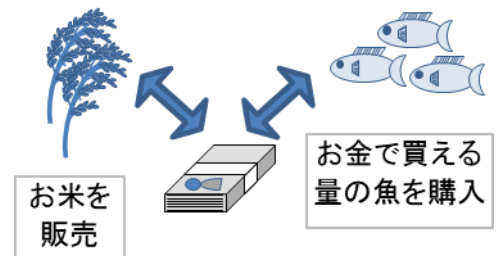
では、具体的にどのような機能として社会で役立っているのかを考えたいと思いますが、その説明のために、もしもお金が無かったらどうなるかという話をしていきましょう。

- ① 米農家さんがパンを作りたいと思いましたがお米しか持っていません。そこで麦農家さんの所へ行き**お米と麦を交換**してもらおうと思いましたが、**麦農家さんは別にお米がほしい**と思っていません。**魚が食べたいから魚となら交換**してあげるといいます。仕方なく米農家さんは漁師さんにお米と魚を交換してもらい、**麦農家さんのところへ魚をもって麦と交換**してもらいに行きました。すごく大変ですね。ここで**お金があれば**、

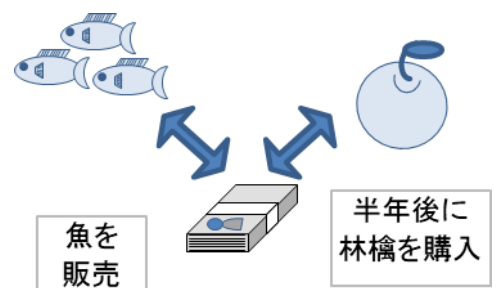


米農家さんはお米がほしい人にお米を売り、そのお金をもって麦農家さんのところで麦を買うことができます。これが①交換機能です。

- ② また、**米農家さんはお米 10 kgと魚 10 kgを交換**してほしいと思っていました。しかし**漁師さんは魚 5 kgとしか交換しない**と言います。困った二人は周りの人にどのくらいの比率で交換すればいいか意見を求めましたが 3 kgという人もいれば 7 kgという人もいて決まりません。そこで**お金があれば**、**米農家さんは米 10 kgを 5 千円でほしい人に販売し、その 5 千円で買える魚 6 kgを買うことができます。**ここでは**米 10 kg＝5 千円、魚 6 kg＝5 千円**という様にそれぞれの価値を貨幣価額で比較することができました。これが②測定機能です。



- ③ 今度は漁師さんが**大量で魚が 50 kgも取れました**。漁師さんは**リンゴがほしい**のですが、**リンゴの収穫は半年後**です。でも、半年もしたら魚は腐ってしまいます。しかし**お金があれば**、**一度魚を売ってお金に換えておくことで、半年後にリンゴをそのお金で買うことができます。**これが③保存機能です。



このように、普段何気なく使っているお金には3つの素晴らしい機能があります。最近よく問題視される老後への備えなどは、まさにこの③保存機能をよく理解し、計画的に貯蓄を行うことにより問題解決を図ることができます。